

職員の健康、職務全う、 そして良い未来へ

1. 令和 5 年行事・出来事の振り返り

令和 5 年の当社を振り返りますと、

- ① 3 月の「整備工場」の新築移転。
- ② 4 月に(株)公清企業のリスク分散・グループ事務部門の集約化を目的として、「総務部門の公清ホールディングスへの移転」を実施しました。また安定した人員の確保・給油及び洗車の効率化を目的とした「白石営業所」の工事が本格化しました。
- ③ 5 月、社長交代を始めとする役員体制の変更。また「コロナ 5 類移行」となる。
- ④ 6 月は工事部のリスク分散による受皿構築をとして「山王建設株式会社」を M&A で取得しました。



2. 令和 6 年の予定・事業体制について

- ・ 2 月に白石営業所の稼働 ～ 本社・新川営業所の塵芥部統合、本社営業部移転。
- ・ 4 月、昨年に引続き事務部門の集約として、経理部を公清ホールディングスへ。
- ※ 令和 6 年は「白石営業所新築」に伴う『事業体制の強化策』として、
工事部部門 ～ 従来通り発寒営業所を主体としながら、「第二発寒営業所は土木課」・「新川営業所に清掃課を移転」を行う。
- ・ 環境測定分析所部門 ～ 新体制として、「発寒営業所は環境計量係・環境調査係」、「第二発寒営業所として、環境土壌係・アスベスト調査係」、「新川営業所にビル管理係・警備係」を移動する。
- ※ 新体制により、① 工事部と環境測定分析所の連携強化、② ビル管理係は「清掃工場の施設管理業務受注」を目指し、③ 工事部～協力会社の育成、山王建設(株)との連携強化

3. 職員待遇についての考え方

- ・ 働く環境の整備の一環として、近年は各営業所の新築移転を行いますが、令和 6 年 2 月に白石営業所の新築移転予定 ～ 本社・新川営業所塵芥部の統合、給油・洗車場設備を設置する。
- ・ 従業員待遇面 ～ 令和 5 年度は「基本給アップ」を実施。
- ・ 勤務評価制度の確率を目指す。
- ・ 将来展望の明確化を図る。

4. 公清企業グループの今後について（取組計画・社長抱負など）

- ・ 廃石膏ボードリサイクル事業として、「解体業者組合」と「地方の受入れ先が無い先」との連携を強化し、令和 6 年度の受入「6,000 t」を目指す（令和 5 年実績は 3,000 t）。
- ・ プラスチック資源循環法制定に伴い、2035 年には焼却量の大幅な減量が見込まれることから、廃プラスチック再商品化事業（リサイクル事業）への取り組みを検討する。
- ・ 紙おむつリサイクル事業 ～ 技術的には確率しているので令和 6 年以降、段階的に札幌市（行政）に提案を行っていく。
- ・ ラピダス進出について ～ 廃棄物処理は大手参入が予想されており、当社の直接参入は厳しいものと思慮するが、当社を核とした地場産廃業者を「北海道経済連合会」や「北海道新産業創造機構」を通じて、推薦・情報提供を行っていききたい。